



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <https://odawara-eng.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,576	△31.2	△234	—	△231	—	△187	—
2019年12月期第1四半期	2,290	0.6	68	41.9	78	285.3	49	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △221百万円( —%) 2019年12月期第1四半期 73百万円( 61.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△32.00	—
2019年12月期第1四半期	8.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	20,623	12,553	60.9
2019年12月期	19,580	12,950	66.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 12,553百万円 2019年12月期 12,950百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭 特別配当 5円00銭

2020年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	6,000	3.8	150	△63.3	170	△61.4	90	△70.5	15.34	
通期	14,500	9.2	700	△46.0	730	△46.5	480	△52.5	81.82	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす連結業績に与える影響は現時点において合理的に算定することが困難であるため、第2四半期連結累計期間及び、通期の連結業績予想は変更していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	6,392,736株	2019年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	525,918株	2019年12月期	525,886株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	5,866,828株	2019年12月期1Q	5,856,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大、世界的なパンデミックの発生により、世界各国の経済活動は急速に停滞し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況は、リーマン・ショックを超える過去に例を見ない極めて厳しい状況との声もあり、内外経済への影響は深刻なものが見込まれています。

このような状況下、巻線機事業において下期以降に売上を予定している案件が多いことに加え、送風機・住設関連事業において新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上高は1,576百万円(前年同四半期比31.2%減)となり、利益面につきましては、売上減少と巻線機事業の新規開発案件等により、営業損失は234百万円(前年同四半期は68百万円の営業利益)、経常損失は231百万円(前年同四半期は78百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は187百万円(前年同四半期は49百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 巻線機事業

巻線機事業に関しては、受注残高は12,080百万円と前期末より若干増えたこともあり、生産は引き続き好調に推移しているものの、下期以降に売上を予定しているものが多いことから、売上高は654百万円(前年同四半期比48.6%減)、セグメント損失は105百万円(前年同四半期は184百万円のセグメント利益)となりました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期、検収条件等が大きく異なるため、受注時期や売上時期が四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

#### ② 送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による生産活動の停滞から、工作機械や産業ロボット向けを中心とする軸流ファンの需要が落ち込み、浴室照明器具、全館空調システムを含む住宅換気装置についても、新型コロナウイルス感染症の影響による物流活動の停滞から、主要顧客の建築部材が海外から入手困難となった影響を受けたこと等により売上が落ち込み、売上高は922百万円(前年同四半期比9.4%減)、セグメント損失は42百万円(前年同四半期は29百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、14,487百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,142百万円、仕掛品が523百万円それぞれ増加し、現金及び預金172百万円、受取手形及び売掛金が785百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、6,135百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、20,623百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、7,708百万円となりました。これは主に、短期借入金が3,000百万円、前受金が540百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が560百万円、未払金が1,222百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、362百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21.7%増加し、8,070百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、12,553百万円となりました。これは主に、利益剰余金が363百万円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす連結業績に与える影響を、現時点において合理的に算定することが困難であるため、2020年2月14日に公表した業績予想は変更しておりません。

今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,583,702	2,411,242
受取手形及び売掛金	4,104,217	3,319,074
電子記録債権	398,386	649,480
商品及び製品	2,107,368	3,249,785
仕掛品	2,989,863	3,513,360
原材料及び貯蔵品	661,343	665,510
その他	530,269	681,574
貸倒引当金	△2,809	△2,329
流動資産合計	13,372,343	14,487,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,622,238	4,630,886
減価償却累計額	△1,923,294	△1,961,700
建物及び構築物(純額)	2,698,943	2,669,185
機械装置及び運搬具	1,621,975	1,629,255
減価償却累計額	△1,119,395	△1,148,919
機械装置及び運搬具(純額)	502,580	480,336
工具、器具及び備品	1,420,620	1,434,136
減価償却累計額	△1,164,055	△1,178,406
工具、器具及び備品(純額)	256,565	255,729
土地	1,578,886	1,578,651
建設仮勘定	16,071	9,866
有形固定資産合計	5,053,047	4,993,769
無形固定資産		
ソフトウェア	71,101	75,899
電話加入権	3,043	3,043
その他	1,157	111
無形固定資産合計	75,302	79,054
投資その他の資産		
投資有価証券	353,151	293,240
退職給付に係る資産	288,959	287,786
繰延税金資産	409,101	456,638
その他	28,765	24,997
投資その他の資産合計	1,079,977	1,062,663
固定資産合計	6,208,327	6,135,487
資産合計	19,580,671	20,623,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,878,309	2,317,760
短期借入金	—	3,000,000
未払金	1,525,535	303,457
未払法人税等	372,860	36,252
前受金	1,097,184	1,637,929
賞与引当金	70,066	188,849
アフターサービス引当金	82,491	72,764
その他	194,689	151,115
流動負債合計	6,221,138	7,708,130
固定負債		
繰延税金負債	34,934	13,206
退職給付に係る負債	175,821	174,000
資産除去債務	19,940	20,021
その他	178,235	154,778
固定負債合計	408,931	362,006
負債合計	6,630,069	8,070,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,816,387	1,816,387
利益剰余金	10,335,029	9,971,298
自己株式	△369,003	△369,089
株主資本合計	13,033,229	12,669,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,194	46,505
繰延ヘッジ損益	16,697	36,302
為替換算調整勘定	△188,520	△199,173
その他の包括利益累計額合計	△82,628	△116,364
純資産合計	12,950,601	12,553,048
負債純資産合計	19,580,671	20,623,186

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,290,962	1,576,865
売上原価	1,686,799	1,237,426
売上総利益	604,162	339,438
販売費及び一般管理費	535,494	573,803
営業利益又は営業損失(△)	68,668	△234,365
営業外収益		
受取利息	590	145
受取配当金	150	90
受取賃貸料	2,486	1,252
受取保険料	—	5,080
作業くず売却益	2,931	2,184
その他	4,675	3,971
営業外収益合計	10,833	12,725
営業外費用		
支払利息	49	1,198
為替差損	—	7,920
減価償却費	583	523
その他	0	1
営業外費用合計	634	9,644
経常利益又は経常損失(△)	78,867	△231,283
特別利益		
固定資産売却益	602	—
特別利益合計	602	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	79,469	△231,283
法人税、住民税及び事業税	59,950	16,467
法人税等調整額	△29,859	△60,026
法人税等合計	30,090	△43,558
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,379	△187,724
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	49,379	△187,724

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,379	△187,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△421	△42,688
繰延ヘッジ損益	18,615	19,605
為替換算調整勘定	6,123	△10,652
その他の包括利益合計	24,317	△33,736
四半期包括利益	73,696	△221,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,696	△221,461



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,272,958	1,018,003	2,290,962	—	2,290,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	211	211	△211	—
計	1,272,958	1,018,215	2,291,173	△211	2,290,962
セグメント利益 又は損失(△)	184,461	△29,568	154,892	△86,224	68,668

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△86,224千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	654,761	922,103	1,576,865	—	1,576,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	89	89	△89	—
計	654,761	922,193	1,576,955	△89	1,576,865
セグメント損失(△)	△105,363	△42,154	△147,517	△86,847	△234,365

(注)1.セグメント損失の調整額△86,847千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。